

「第2次平戸市総合計画前期基本計画（案）」に関するご意見と市の考え方

	ページ等	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方（回答）
1	49 ページ 【基本施策】 障がいのある人もない人も共に生きる	<p>49 ページの施策1「社会参加・地域交流を促進する」を実現するためには、手帳を所持しているだけでは不可能。誰しも所持していれば受けられる恩恵であるにせよ、何事にも数の力、マンパワーを必要とします。家族の理解と協力と賛同（賛助会員）、すなわち家族に対する呼びかけが先であります。</p> <p>施策1に必要なのは、まず障害者自身に対する家族の思いがどれ程のものかによって、他人は動きます。ボランティア云々はその後でしょう。</p> <p>社会を動かす力は、自治体のみならず、直接の当事者（障害者）自身でしょう。子育てにせよ、老人介護にせよ、全てにおいて動機づけはまず家庭から。そこで不足を見出した時、社会が動く。その時、他の人の理解を得られるのではないかと思います。動機づけのための施策をお考えください。</p>	<p>障がいのある人と暮らし、その生活を支える家族の存在は、とても大きいものです。障がいのある人の社会参加を推進するうえでも家族の理解は不可欠です。家族の積極的な理解を促すための啓発を行なうとともに、障がいのある人が自立した生活を送れるよう、社会参加の取り組みを進めてまいります。</p> <p>また、51 ページに「地域の支えあいで福祉を充実する」という基本施策を掲げており、「全員参加型の地域共生社会を実現する」取り組みについて記載しているところです。</p> <p>さらに現在、「平戸市地域福祉計画」を策定中であり、その中で地域福祉の向上に向けた4つの助けである「自助・互助・共助・公助」それぞれの役割を明記し、「一人ひとりが生きがいをもって ともに支え合う共生のまちづくり」を行なっていくこととしております。</p> <p>今後も身体障害者福祉協会など関係団体とも連携しながら、「住みよい福祉のまちづくり」を目指してまいります。</p>

	ページ等	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方（回答）
2	<p>地域づくりプロジェクト</p> <p>12 ページ</p> <p>地区を発展させる主な取り組み</p>	<p>地域を発展させる主な取り組みについて、農業に関する記述が見当たりませんが、農業の振興について支援・推進する方向は考えているのでしょうか。</p>	<p>「地域を発展させる主な取り組み」につきましては、地域審議会・地域協議会など団体と協議しながら策定した「基本構想」での「重点的な取り組み」と、各地区で開催したワールドカフェでのご意見を踏まえ記述しました。</p> <p>市内を7つの地域に分け、それぞれの特徴を伸ばし平戸市全体の振興につなげていきたいという思いから、様々な地域振興策がある中からご意見を基に「主な取り組み」として挙げさせていただいたため、全ての施策を網羅した形で記述していない状況であります。</p> <p>農業につきましては、市内全域で営まれている平戸市の基幹産業の一つであり、その振興については引き続き重点的に取り組むこととしています。</p> <p>基本計画（案）にも、基本プロジェクトである「しごとをひろげるプロジェクト」の中で「次代につながる農林業を振興する」ことを掲げており、「地域を発展させる主な取り組み」の記述に関わらず、市内全域を対象として振興策を講じるとともに、他の分野についても同様に施策を展開してまいります。</p>

	ページ等	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方（回答）
3	共通	<p>全体として、希望的な文言になるのは仕方ないと思います。しかし、平戸市の現状の厳しさを基礎に組み立てていく必要があったと思います。将来、市がどの分野を重点に進めるべきかをもっと打ち出すべきです。</p> <p>全てが総花的になっています。おそらくほとんどが、実現は難しいと思います。特に、観光については危機的な状況にあり、深刻であり、本腰を入れて取り組む必要があります。早期に、具体的にDMOを進めるべきです。</p> <p>私見ではありますが、今の平戸市のやるべき重点は観光、公共交通、少子高齢化、地域の活性化の方法、教育環境、女性が住みやすいまちであること、若者流入対策だと考えます。</p> <p>予算の構成を基本から組み直すことも重要、急務であります。</p>	<p>ご指摘のとおり、総合計画審議会におきましても少子高齢化をはじめ、平戸市を取り巻く厳しい現状を踏まえ計画策定すべきとのご意見をいただき、それらを踏まえながら策定に臨みました。</p> <p>喫緊の課題である人口減少対策につきましては、平成 27 年度に「平戸市総合戦略」を策定し、関連事業を実施しているところです。今回の総合計画は、「平戸市総合戦略」を含めた形で策定しており、人口減少をはじめさまざまな困難に覚悟と決意を持って取り組み、市民の誰もが「ずっと住みたい」と思えるまちづくりに挑んでいくことを、平成 29 年 11 月にパブリックコメントを行った基本構想の中に示しています。</p> <p>また、基本構想の第 1 部第 4 章に、「未来への航海」として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来の羅針盤となる「人」をつくる （まちを築いていく人材の育成） ・まちの灯台を灯す「絆」を紡ぐ （地域コミュニティの活性化） ・「魅力」を描いた帆をあげる （観光などによる交流とにぎわいの拠点づくり） ・強く漕ぎだす「産業」をつくる （農林水産商工業などの産業振興）

	ページ等	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方（回答）
			<p>・自ら「経営」の舵を切る （限られた財源と人材の有効活用による地域経営） という、平戸市が取り組むべき5つの主要課題を掲げ、基本計画において具体的な施策を掲げるとともに、平成30年度予算についても第2次平戸市総合計画を念頭に置いた構成にしたところです。</p> <p>特に観光につきましては、基本計画において「平戸版DMOの組織化」を掲げ、その実現に向け平成30年度において関連予算を計上したところであります。</p> <p>併せて、今回の総合計画で重点プロジェクトとして位置づける「シン・平戸創生プロジェクト」では、人材創出と農林水産業の振興、及び観光の地力向上を掲げ、平成30年度予算では世界遺産登録を契機とした取り組み、平戸城のリニューアルのための予算を計上したところです。</p> <p>全てが総花的というご指摘ではありますが、多様な住民ニーズに的確に答えていくためには、全ての施策を網羅し計画で位置づける必要があり、その中であって、上記に挙げた主要課題や重点プロジェクトなどにも取り組むことにより、基本構想で掲げた未来像「夢あふれる 未来のまち 平戸」実現に向けて積極果敢に挑んでまいります。</p>

	ページ等	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方（回答）
4	28 ページ 【基本施策】 生涯学習・社会教育を充実する	<p>施策1「いつでも、どこでも学べる環境をつくる」の主な取り組みの④「図書及び図書機能の充実」は、「図書及び図書館機能の充実」と変更すべきではないでしょうか。</p> <p>また、施策3「<u>共に</u>つくり<u>共に</u>分かち合う環境をつくる」については、平戸市生涯学習推進計画「第2期」の案文との整合性をとるため、「<u>共に</u>まなび<u>共に</u>分かち合う環境をつくる」とすべきではないでしょうか。</p>	<p>施策1については、ご指摘のとおり変更いたします。</p> <p>また、施策3についてもご指摘のとおり整合性をとり、「共にまなび共に分かち合う方法をつくる」といたします。</p>